

市議会 だより



10月19日、市内林道・市有林にてにかほ市林活議員連盟の研修視察を行いました。最終ページに報告を掲載しています。

9月定例会

9月定例会の概要	2
一般質問	6
委員会審査報告	13
編集後記	16

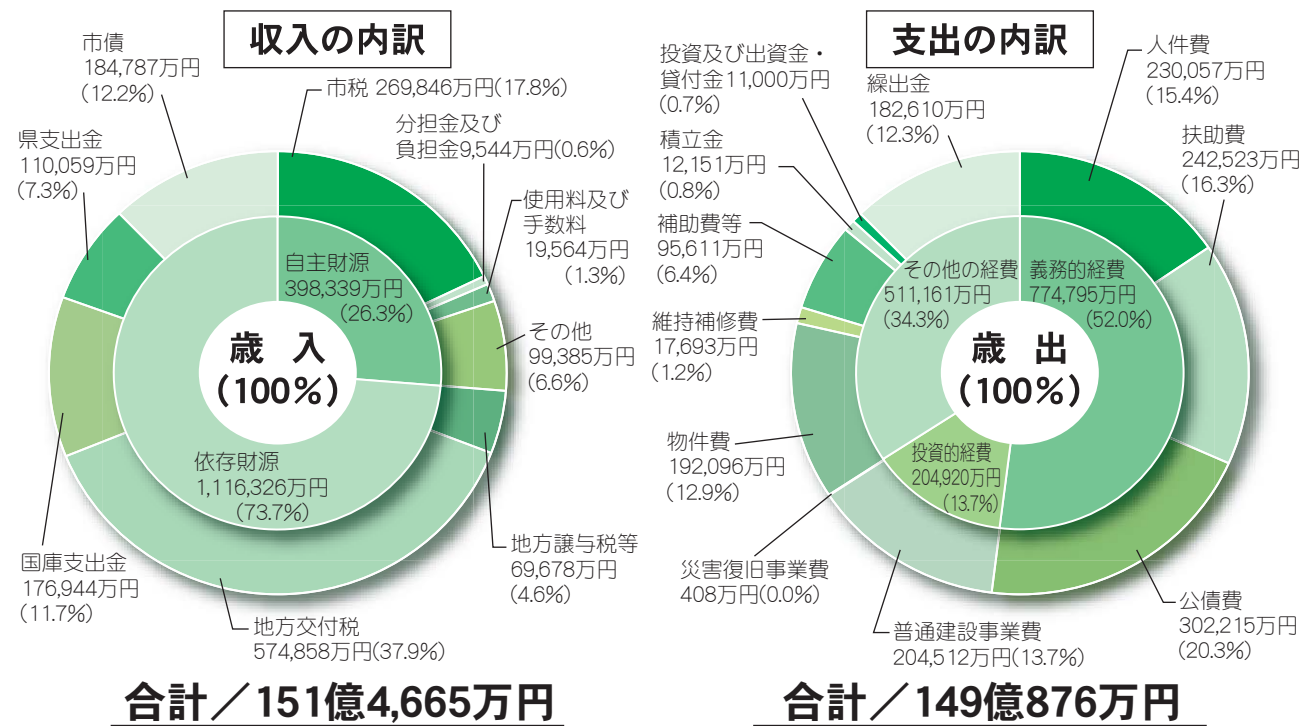
一般会計・特別会計それぞれの歳入歳出決算を認定！

149億876万円

平成28年度決算

一般会計の歳出総額は

一般会計決算の内訳



平成28年度 一般会計・特別会計決算

会計別	歳入	歳出	歳入歳出差引残額
一般会計	15,146,651	14,908,760	237,891
特別会計			
国民健康保険事業特別会計事業勘定	3,430,112	3,399,672	30,440
国民健康保険事業特別会計施設勘定	85,113	71,759	13,354
後期高齢者医療特別会計	280,968	27,354	1,614
簡易水道事業特別会計	549,340	549,340	0
公共下水道事業特別会計	1,161,879	1,136,182	25,697
農業集落排水事業特別会計	427,251	420,006	7,245
計	5,934,663	5,604,313	78,350
合計	21,081,314	20,513,073	316,241

事業別	項目	収入	支出	
企業会計	ガス事業	収益的	449,206	454,551
		資本的	114,859	203,030
	水道事業	収益的	573,961	492,442
		資本的	95,769	447,698

※ガス・水道事業とも不足する額は、過年度及び当年度分損益勘定留保資金などで補てん。

9月定例会のあらまし

8月29日から9月21日までの24日間の日程で9月定例会が開催されました。初日は、市政報告及び教育行政報告と今回の議

決算

一般会計は歳入が151億4,665万円、歳出が149億876万円となっており、翌年度に繰り越すべき財源を引いた実質収支は2億2,722万円の黒字となりました。また、特別会計も全て黒字決算となりました。※金額・数値は表示単位で調整しています。

条例

議案第60号 にかほ市新産業支援センター条例の一部を改正する条例制定についてにかほ市新産業支援センターのうち、2つを用途廃止するため条例の一部を改正しようとするものです。釜ヶ台新産業支援センターは建物の老朽化等により利活用の見込みがないため、金浦臨海新産業支援センターは株式会社秋田オイルシールへ売却する予定であるた

案の要旨の説明がありました。その後、議案第56号固定資産評価審査委員会委員の選任について、議案第60号にかほ市新産業支援センター条例の一部を改正する条例制定についてを採決しました。

補正

平成29年度一般会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ10億1,729万3,000円を追加し、予算総額を140億4,783万円とするものです。

主な歳出

- 農地集積加速化基盤整備事業負担金 2,000万円
- 金浦最終処分場脱水機汚泥供給ポンプ修繕工

平成29年度一般会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ3,756万6,000円を追加し、予算総額を140億8,539万6,000円とするものです。

主な歳入

- 財産売却収入 3,756万円

内容について一部紹介します。

5日と6日は一般質問を行い、計7人の議員が登壇し、当局と活発な論戦を展開しました。8日は上程されている議案を各常任委員会、決算特別委員会、予算特別委員会に付託して審査を行う旨の決定をし、20日

5日と6日は一般質問を行い、計7人の議員が登壇し、当局と活発な論戦を展開しました。8日は上程されている議案を各常任委員会、決算特別委員会、予算特別委員会に付託して審査を行う旨の決定をし、20日

最終日に各委員会の審査結果報告を受けた後、採決(人事案件3件、議案第60号を除く)を行い、議案22件を認定・可決、陳情1件を不採択としました。

まで委員会で各議案を審査しました。

可決!

9 月定例会議案一覽

議案番号	件名	議決結果
報告第2号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	
報告第3号	継続費精算報告書の報告について	
議案第56号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第57号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第58号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第59号	にかほ市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第60号	にかほ市新産業支援センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第61号	財産の処分について	原案可決
議案第62号	物品の取得について	原案可決
議案第63号	にかほ市過疎地域自立促進計画の策定について	原案可決
議案第64号	平成28年度にかほ市一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定
議案第65号	平成28年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定歳入歳出決算認定について	原案認定
議案第66号	平成28年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定歳入歳出決算認定について	原案認定
議案第67号	平成28年度にかほ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
議案第68号	平成28年度にかほ市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
議案第69号	平成28年度にかほ市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
議案第70号	平成28年度にかほ市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定
議案第71号	平成28年度にかほ市ガス事業会計決算認定について	原案認定
議案第72号	平成28年度にかほ市水道事業会計決算認定について	原案認定
議案第73号	平成29年度にかほ市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第74号	平成29年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定補正予算(第2号)について	原案可決
議案第75号	平成29年度にかほ市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第76号	平成29年度にかほ市ガス事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第77号	平成29年度にかほ市水道事業会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第78号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第79号	工事請負変更契約の締結について	原案可決
議案第80号	財産の処分について	原案可決
議案第81号	平成29年度にかほ市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
議提第6号	事務検査に関する決議について	原案可決

陳 情

陳情番号	陳情の件名	陳情者の氏名	付託委員会	結果
陳情第7号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣 一徳	産業建設	不採択

賛否一覽表

※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他は全会一致でした。
 ※菊地衛議長は採決に加わりません。

議席番号	2	3	4	5	6	7	8	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決結果	
議員名	渡部幸悦	佐々木雄太	佐々木春男	奥山収三	伊藤知	伊藤竹文	飯尾明芳	佐々木弘志	佐々木平嗣	小川正文	伊東温子	鈴木敏男	佐々木正明	宮崎信一	加藤照美	佐藤元	佐藤文昭		
議案第64号	○	○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案認定
議案第73号	○	○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議提第6号	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

○:賛成 ●:反対 —:欠席(親族葬儀) =:除斥

質 疑

議案第64号 平成28年度にかほ市一般会計歳入歳出決算認定について

【問】 有価証券1億円を購入していますが、その内容と運用状況について伺います。

【答】 財政調整基金の一環として購入したものです。発行者は秋田県、発行額は100億円、利率は0.12%、1億円を10年間で運用するものです。平成28年度中には12万円の運用利益を上げています。

【問】 高額療養費資金貸付金で償還されていないものがありますが、これまでの交渉の経緯と現在の状況、今後の対応を伺います。

【答】 平成27年9月に借受人に督促状を通知しま

したが、居住不明で返戻となりました。

保証人に借受人の情報提供通知を送付しましたが、連絡はありませんでした。平成28年度9月にも通知しましたが、未だに連絡が取れていません。

借受人については居住地の異動がないか確認でき次第、償還を促します。また、今後も保証人に情報提供を依頼していきます。

議案第78号 工事請負契約の締結について

【問】 旧清掃センター解体工事に係る、入札は一時中止になりましたが、後日、競争入札は公告されています。一連の経過を伺います。

【答】 当初公募型指名競争入札とし、一社から申請がありました。同社は参加資格を満たしていま

したが、一社だけの指名競争入札は競争性を欠くことから入札を中止しました。

市内建設業者土木Aの業者との共同企業体とするのを条件にし、条件付き一般競争入札としたものです。

議案第79号 工事請負変更契約の締結について

【問】 増加の児童人数、増加に伴う学級編成を伺います。

【答】 平成28年度4月の見込児童数より5人増加しています。それに伴い、2年生が2クラスから3クラスになります。平成31年度は1年生が3クラスになる見込みです。

【問】 契約の変更箇所が多く見られます。なぜ当初の設計に入れていなかったのですか。

【答】 事前に行った外壁補修箇所等の目視調査と、実際のものとの違いが出たためです。

【問】 教室内の壁掛け扇風機、図書館の空調設備はなぜ今回の計上なのですか。

【答】 学校からの追加要望によるものです。

【問】 校長室の床工事の変更理由を伺います。

【答】 校長室は日当たりが悪く、不衛生になりがちであることからタイルカーペットにするものです。



討 論

議案第64号 にかほ市一般会計歳入歳出決算認定について

佐々木春男議員

反対討論 決算書の中には、社会保障・税番号制度に関する項目が数箇所あります。この制度は「より正確な所得把握が可能となり、社会保障や税の給付と負担の公平化が図られる」等の効果が謳われています。しかし、個人番号を取り扱う企業等の組織は全国で数百万とも言われ、それだけ漏洩の危険性が広がると考えられます。この制度で収集した情報を警察が例外として利用できるようです。つまり、国民監視の道具として利用されるとも言えます。よって、税番号制度に関連している決算には賛成できません。また議案第73号にも同様の考えで反対します。

市内施設との共同事業でアワビの特産品開発を考えないか。



佐々木平嗣 議員

採算をとることが難しいので考えていない。

横山市長 答弁

質問 「秋田県水産振興センターアワビ種苗生産施設」と共同事業として、アワビの特産品開発を考えませんか。

市長 この施設は秋田県を始めとする8市町が出資捐金を出して、公益財団法人秋田県栽培漁業協会が運営をしています。この財団法人はカキ種苗の生産と販売を事業としている団体です。現在、象潟ではアワビの種苗生産を行っています。ヒラメ、マダイ、黒磯、ガザミなどの種苗も生産しています。

協会が公益財団法人の性格上、種苗センターと一緒に特産品を開発するのは無理があること、採算をとるのが難しいことから現在のところ共同で特産品を開発する考えはありません。

ライフジャケットの整備を

質問 市民にライフジャケットについてのはし

ていますか。

市長 まず災害時は、自らの命を守るために的確かつ迅速に安全な場所に避難する行動が一番大切です。

しかし、避難をするには手助けが必要な方もいますので、自治会等でさらに話し合いを進めながら、避難体制の強化に努めてもらいたいと考えています。

ライフジャケットの整備については以前も質問がありましたが、自らの命を守るという観点からも、必要な市民の方は、市の補助金を活用して整備していただきたいと思います。

総務部長 今まで市民にはライフジャケットに特化した説明はしていませんが、各自主防災組織に対する消防資機材補助事業実施要望のとりまとめを行う際に、購入実績一覧表を資料として添付し、品名と単価を知らせています。

実績としては、平成24年に駅前町内会自主防災会が100着、27年に臨海防災会が33着購入しています。

質問 沿岸地域在住の市民にライフジャケットを準備する考えはありますか。

総務部長 以前も答弁していますが、現在もその計画はありません。

質問 補助金の説明はしていますか。

総務部長 この補助金は



▲ ライフジャケット

市単独の事業であり、消防防災等の資機材の購入について、費用の3分の2、上限20万円として補助するものです。毎年11月に各自主防災組織から資機材購入の計画書を提出していただき、翌年の予算に計上します。補助金の説明については、合併当初から多くの自主防災会で活用されています。防災課ではその都度、説明や資機材の内容等を調査し、対応していることから、現在は説明会開催の希望などはありません。

描いた新市のまちづくりは 実現できたのか。



鈴木 敏男 議員

ある程度、実現できたと思っている。

横山市長 答弁

質問 合併後の市民の評価をどのように受けとめていますか。

市長 市民は生活基盤の整備や健康推進事業に関しては概ね満足していると考えていますが、産業振興、観光面での満足度は低いと考えています。

質問 旧3町の特性や特色はどのように伸びたと実感していますか。

市長 にかほ市全体としての特色・特性をマッチさせた市政に取り組んできたことで、多くの分野において市全体で特色・特性を享受できるようになったと考えています。

質問 総合文化施設の建設について次期市長にどのように引き継ぎますか。

市長 文化施設に限らず、新たな公共施設の整備は「公共施設等総合管理計画」に基づき、機能

が競合する施設は集約した上で、行うことが大切です。その点については引き継ぎ書に明記したいと思っています。

質問 TDKの生産体制見直しや構造改革は、今後のまちづくりにおいてどのような影響があると考えますか。

市長 秋田をTDKの主要な生産拠点として位置づけ、250億円を投じて由利本荘市とにかほ市に2つの工場を建設しています。雇用面においても景気に左右されることなく、一定の社員採用規模を維持するとしていますので、今後、若者の雇用の場として期待しています。したがって、まちづくりへの大きな影響はないと考えています。

質問 市長が描いたまちづくりは実現できましたか。

市長 ほとんどの分野で

目指したまちづくりに向けた施策は実施してきましたので、ある程度、実現できたと思っています。



▲ TDK株式会社 稲倉工場

にかほ市教育大綱と「にかほ地域学」について

質問 「にかほ地域学」のねらいを伺います。

教育長 ふるさとにかほ市に関わる内容を9年間の義務教育の中で適切に指導すること、にかほ市の良さを理解し、ふるさ

とに自信と誇りを持つこと、児童生徒、教員、保護者や地域の方々もにかほ市に一層の愛着を持ち、支えていこうとする人を増やしていくことです。

質問 今後「にかほ地域学」をどのように進めていきますか。

教育長 防災教育については、シェイクアウト訓練を年に数回実施しています。歴史・文化については、伝統行事に計画的に参加したり、地域の人材を活用して講話を聴いたり、体験を通して学んでいくよう進めています。

質問 「にかほ地域学」の中の「頑張っている人」の定義を伺います。

教育長 ふるさとのために、誰かのために心を砕き、汗を流している全ての人が当てはまるものと思っています。



佐々木弘志 議員

市長退任に当たり、やり残したことを一つ挙げるとすれば何があるか。

人口減少、少子化のスピードを抑制することが出来なかったこと。 —— 横山市長 答弁

質問 市長は任期満了に伴う市長選に出馬しないことを正式に表明しています。

12年間にわたる任期の間、生活クラブとの交流事業では観光客の増加などが見られ、評価されています。白瀬日本南極探検100周年記念事業では、白瀬の偉業を世界に発信できました。

コールセンターの企業誘致では一時大きな問題に発展しましたが、一流企業の誘致という好結果になりました。環境プラザ完成に伴う家庭ごみの画期的持ち込みの改善は、不用品の整理の手助けになっていきます。

残された任期は約2ヶ月ですが、残された任期中、やり残したことを一つ挙げるとすれば何がありますか。

市長 人口減少と少子化に歯止めをかけることは無理にしても、スピード

を抑制することが出来なかったということが挙げられます。にかほ市の人口は合併時から右肩下がりで、止まることはありませんでした。

自然減と社会減ともに増加し、特に出生数の減少と若者の転出増加が顕著で、そのスピードを抑える取り組みをしてきました。福祉医療の充実、保育料の保護者負担の大幅軽減、不妊治療への助成など行ってきましたが、特効薬にはなりません。

若者は大学進学で首都圏を中心に転出します。卒業しても6割から7割は戻ってこないのが現状です。その対策として、奨学金の返済期間の延長、移住・Uターン者への情報発信、助成制度の創設、市内企業の雇用情報の発信と企業への支援を通して雇用の拡大と企業誘致を進めてきました。

結果として、大学卒業者の受け皿となるような企業誘致に至らなかったことも、人口減少が抑制できない一つの要因と考えています。TDKは大学卒業者は本社採用ですが、地元での採用を要請してきていました。まずはTDK秋田で来季から大学卒業者を採用することになっています。

また、行政懇談会でも自分達の子ども、孫にかほ市を背負ってもらいたいとお話しはしていますが、なかなか良い形にならなかったことが大変心残りです。今後、これが良い形になって現れることを期待しています。

質問 次期市長に何を望みますか。

市長 人口減少と少子化の改善、各産業を通して経済活動がさらに高まることを期待しています。



▲ 白瀬日本南極探検100周年記念事業

行財政改革を進めて、将来世代に大きな負担を強いることのないように、健全な財政環境を維持、強化してその時々々の行政需要に対応していただきたいと思えます。これはハード、ソフトを含め、期待していることです。

自然エネルギーのまちを 宣言する考えはないか。

再生可能エネルギー施設の積極的な奨励はしないので、宣言する考えはない。—— 横山市長 答弁



小川 正文 議員

質問 にかほ市公式フェイスブックの情報発信の回数、またその内容を伺います。

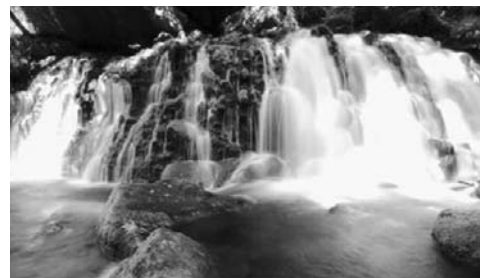
総務部長 平成26年度23回、27年度34回、28年度65回です。内容はイベント周知に関するものが9割以上です。

質問 発信された情報に対する反応を伺います。

総務部長 平成28年度の閲覧実績は一投稿当り平均1,169件です。特に多かった投稿は、鳥海山・飛鳥ジオパーク認定報告2,847件です。また掲載したページで「いいね」と呼ばれる了承を意味するボタンをクリックすることで友達として登録された方は、709人です。

質問 投稿者をにかほ市職員に限定した理由を伺います。

総務部長 外部の不特定多数の方が自由に投稿すると、どのような投稿が



▲にかほ市役所公式フェイスブック

あるか全く予想できません。また、24時間体制での監視が必要となることから、投稿者を職員に限定しています。

自然エネルギーの まち宣言について

質問 本市には風力、太陽光発電所等があります。「自然エネルギーのまち」を宣言して、全国に発信する考えはありませんか。

市長 現在では、風力、太陽光発電所は、珍しいものではありません。また、再生可能エネルギー施設は景観、人体等への

影響が懸念されるケースもあります。したがって、積極的に再生可能エネルギーの設置を奨励している、受け止められる宣言をする考えはありません。

民間活力の導入

質問 民間の企業と提携して行政と一体となつて、企業誘致を進めていくべきではありませんか。

市長 市職員と企業活性化アドバイザーが市内の企業訪問による情報交換を随時行っています。地元企業と連携して、取引

先への企業の誘致にも働きかけをしたいと考えています。

質問 市の所有する売却可能な不動産を民間と提携して情報発信をしながら、積極的に進めていく考えはありませんか。

市長 これまでの事例はありません。今後そのような方針はありませんが、民間の活力を導入する手法や有効性について調査をしながら、不動産の利活用を図っていきたいと考えています。

質問 平成15年に指定管理者制度ができて以来、本市では2ヶ所活用しています。今後の活用について伺います。

市長 コスト的に有利な施設については検討するとしています。しかし、指定管理者制度に移行することで財政負担が高まるようなものは難しいと考えています。



佐々木春男 議員

英語免許のない 教員がいる場合の対応は。

学校全体で研修を行い、レベルの引き上げが
大事だと考える。 ———— 齋藤教育長 答弁

質問 市内小学校の3年生で一学級39人になっていくところがあります。秋田県でも35人程度の学級目標を示していますので、教員を1人増やして二学級にすべきではありませんか。

教育長 一学級35人程度という基準は全国でも秋田県でも一、二年生のみです。配置基準が決まっていることから、二学級にするために教員を配置することはできません。

質問 市独自の教員配置を検討するべきではありませんか。

教育長 市独自で学級担任をする教員を一人雇用するということは、県の教育配置基準を崩すことになるので法的にできません。

質問 道徳や英語の教科化により、教員の負担増

が心配されていますが、考えを伺います。

教育長 教科化によって、物理的にも精神的にも負担が増えると予想されます。教育委員会としては、学級担任が自信を持って英語教育ができるような指導力アップ研修を積み重ねていきたいと思っています。

質問 英語免許のない教員がいた場合の対応を伺います。

教育長 免許の有無ではなく、指導した経験の有無が重要と感じています。学校全体で研修を進めて、誰でも授業を受け持てるレベルまで引き上げていくこと、日常的に英語に触れる環境をつくるのが大事だと考えます。

質問 英語指導に関する研修を受けただけで有資格者とすることに疑問を感じます。見解を伺います。

教育長 研修をすることは有資格者とするものではありません。あくまでも研修を通して経験を積むことで、自信を持って英語活動に取り組めるようにするということです。



▲ 英語活動の様子

核兵器禁止条約の 採択に関して

質問 核兵器禁止条約が採択されましたが、日本政府は会議に出席しませんでした。本市は非核平和宣言の市でもあります。平和首長会議の一員として、政府に条約を批准するよう要請すべきではありませんか。

市長 政府への要請は、平和首長会議の副会長である田上長崎市長が、平和首長会議の国内加盟都市会議の総会で採択された要請文を提出しています。核のない世界の平和を強く望んでいます。平和首長会議で要請していますので、一首長としての要請は考えていません。

三本堰川の油流出の原因は。

原因の特定までにはいたっていない。

齋藤市民福祉部長 答弁



奥山 収三 議員

質問 三本堰川の道路沿いで油が流出していません。原因について調査を行い、原因は特定されたのか伺います。

市民福祉部長 平成29年1月の分析結果では、灯油などの鉱物油で基準以下、動植物油脂類はほとんど検出されませんでした。

教育委員会では、流出した箇所から一番近い象潟小学校の地下タンク及び配管の漏洩調査を実施しましたが、異常はありませんでした。

8月に流出箇所付近の道路を試掘した結果、口径100ミリの鉄管が出てきました。油は周りの砂全体に浸み込んでいたため鉄管が原因なのか、別方向から流れてきたのか、特定はできませんでした。また、原油系なのか、製油後の油なのか、さらに成分調査を依頼しています。

質問 いつ頃を目途に対処されますか。

市民福祉部長 油の分析結果を見て、関係課と相談しながら、今後の対応を判断していきたいと考えています。

「生ごみの減量化」のために

質問 昨年の広報には「生ごみ処理機の補助について」で水切りバケツの件が掲載されていましたが、それ以降は掲載されていません。掲載回数増加や掲載方法を考え、周知徹底を図るべきだと思えます。

市民福祉部長 助成については今後も市民へ周知していきたいと思えます。助成制度だけでなく、出前講座や環境プラザでの見学・環境学習等を通して、減量を意識づけることも有効であると

考えています。周知の徹底はもう少し工夫をしてみたいと思えます。

質問 ごみの減量化についてアイディアの募集は考えていますか。

市民福祉部長 現在、アイディアの募集について具体的な計画はありませんが、今後取り組んでみたいと考えています。



▲ 順調に稼働している環境プラザ

地域協働協定 委託の検証

質問 地域協働協定委託に関して、事業終了後の検証をしたのか、その内容・結果を伺います。

市長 現在も協定は継続されています。平成26年度事業は観光協会等と検証し、秋田空港からの2次アクセス及び、着地型旅行推進に向けた体制づくり等の必要性について共通の理解が図られました。

平成27年度に秋田空港からの2次アクセスを整備しました。それを活用したANA社員対象のモニターツアーなどを実施しています。こうした取り組みは特効薬にはなりませんが、今後大きな効果を発揮する基礎ができたと思えます。

教職員の勤務実態調査を 行っているか。



伊藤 知 議員

調査結果の状況から必要な対策を検討していく。

齋藤教育長 答弁

質問 文部科学省が平成28年度の「教員勤務実態調査（速報値）」を公表しました。にかほ市内の教職員の勤務実態調査は行っていますか。

教育長 秋田県が昨年の7月に独自の教職員の多忙化にかかわる状況調査を実施しました。その調査に報告された、にかほ市内の小・中学校教員の多忙さについての実態を把握しています。

にかほ市の小学校の教員は成績処理等の事務処理にかける時間、中学校は、ほとんど部活動にかける時間が一番でした。そして小学校・中学校ともに調査・報告が上位に入っています。

このような状況から教育委員会では、多忙原因の一つである調査・報告を精選し、最小限にしたと考えています。

校長会と連携をとりながら、多忙化対策委員会

（仮称）をつくり、具体的な対策を検討していきます。

中学校、部活動・スポーツ関係者と部活動適正委員会（仮称）を立ち上げて、部活動の適正なあり方を検討していきたいと考えています。

質問 英語授業の時間数増加により、総合的な学習の時間を英語に切り替えることを文科省は認めています。本市の考えを伺います。

教育長 総合学習の時間に行う、にかほ市地域学を私たちはメインとしています。総合的な学習時間に実施する考えはありません。時間数確保の方法については、校長会と連携しながら考えていきます。

質問 児童生徒の一人一人にきめ細かく対応するには、もっと時間が必要

になると思います。土曜日授業は考えていませんか。

教育長 時数確保の一つの方法として、土曜日の授業実施はこれから検討していかなければならない問題だと思えます。

質問 教員の多忙化をやらげ、質の高い授業・教育につなげるために、長期休業を短縮する自治体が増えています。本市はどのような考えですか。

教育長 土曜授業と同じように、この長期休業の調整も検討していかねければならない課題です。いろいろなお考えで勉強して考えていきたいと思えます。ただ、校長会とも話し合いましたが、現時点で学力向上、授業数確保という視点で考えれば、各学校とも必要な時間数を時間割に毎週位置

づけていくことが望ましい、という考え方です。現在はそのように進めています。検討していきたいと思えます。

質問 「働き方改革」を踏まえての本市の考え方を伺います。

教育長 知・徳・体の調和のとれた子どもを育てるために、先生方がゆとりを持って明るく、一生懸命に教育に専念できる環境づくりに努めていきたいと思えます。



▲ 教員勤務実態調査

総務常任委員会

一般会計決算特別 総務小委員会

本委員会に付託された議案3件、一般会計決算特別総務小委員会に付託された1件、一般会計予算特別総務小委員会に付託された1件は全員の賛成で可決・認定と決しました。

●議案第63号

にかほ市過疎地域自立促進計画の策定について

【質問】計画の原案は企画課で作成したものですか。

【答弁】計画に盛り込まれた項目は総務省から示されたもので、個々の事業については各課の状況、総合発展計画や総合戦略と突き合わせながら作成しました。

●議案第64号

平成28年度にかほ市一般会計歳入歳出決算認定について

【質問】差押えの配慮、猶予はありますか。

【答弁】差押えに際しては、扶養等を考慮した差押え禁止額があります。財産がない、差押えで

生活を困窮させる、所在・財産共に不明の理由により滞納処分の執行停止を行い、同じ状況が3年継続していれば不納欠損処分を行っています。

【質問】差押えによる転出等の事例はありますか。

【答弁】滞納者の多くは、私債権の負債等を抱えていることが多く、競

売で家を失うことがあつても、市税の滞納だけで転出等はないと考えています。

【質問】6月に小出診療所の現場踏査を行いました。にかほ市地域公共交通活性化協議会でのその後の話し合いについて伺います。

【答弁】協議会では、地域公共交通形成計画が大きな業務になっていて、計画自体では個別事項の具体的な結論は出ていません。小出診療所への

については改めて現地に入り、試験的な運行を行いました。課題である車両と道路幅員については運行業者からも難しいとの意見がありました。

公共施設等総合管理計画では、小出小学校に診療所を移転する考え方もありますが、早期に解決できないことから、改めて再編計画の中で検討し

ていく必要があると考えています。

一般会計予算特別 総務小委員会

●議案第73号

平成29年度にかほ市一般会計補正予算（第2号）について

【質問】8億6,720万円の繰上償還が計上されていますが、今後も過疎債を運用することで繰上償還をしていきますか。

【答弁】過疎債への振り替えは、これから起債するものに関して、当初合併特例債や他の事業債の充当を予定していたものを振り替えるもので、償還が始まっている債務に対してその財源として充てることはできません。しかし、過疎債を活用していけば間接的に繰

上償還に繋がると思いますが。今回繰上償還するのは年利1.34%という高いものです。1%を超えている市債は可能であれば実施していきたいと思えます。

総務常任委員長

伊東 温子



▲小出診療所前

教育民生常任委員会

当委員会に付託になりました議案第62号・議案第65号・議案第66号・議案第67号・議案第68号・議案第74号・議案第78号・議案第79号の8件は、全員の賛成により認定・可決と決しました。

として2社の応札となりました。辞退届の中に、理由の記載を義務付けていませんので把握していません。

●議案第78号
工事請負契約の締結について

【質問】地元企業を組ませたやり方の場合、資格を有する企業が相手を指名するというやり方なのですか。

【答弁】資格を持つ業者が、地元の業者と自由に組んで入札参加をする条件を付した一般競争入札としており、このような結果に至っています。

一般会計決算特別 教育民生小委員会

当小委員会に付託になりました議案第64号、平

成28年度にかほ市一般会計歳入歳出決算認定について中、市民福祉部・教育委員会に関する事項は、全員の賛成により認定するものと決しています。

・子育て長寿支援課

【質問】歳入の保育園ICT化推進等で国の4分の3補助で、実際にソフトを入れた園の業務効率化につながっているか、聞き取りをしていますか。

【答弁】職員の方がなかなか使い慣れていないということもあり、試行錯誤しながら使っていると聞いています。

・仁賀保公民館

【質問】行政財産使用料の滞納繰越分について、今後どのような対応をされていますか。

【答弁】早々に不納欠損処理をすることは考えてはいません。

一般会計予算特別 教育民生小委員会

当小委員会に付託になりました議案第73号、平成29年度にかほ市一般会計補正予算(第2号)について中、市民福祉部・教育委員会に関する事項は、全員の賛成により可決と決しています。

・健康推進課

【質問】当市は高血圧が多いという国民健康栄養調査結果が出ていますが、この原因は何だと捉えていますか。

【答弁】塩分自体は他地域より特別に濃いわけではなかったのですが、重ね食べが多いということ、具体的には分析されています。他市町村と比較すると、国保だけではなく市全体で高血圧が多いという結果が出ています。併せて、女性の脳卒中や心臓病も多いという結果が出ています。

・図書館

【質問】購入する本について寄付された方からの意向等ありましたか。

【答弁】子ども達に夢や希望を与えられるような本をとのことでした。購入時には一覧表を示し、本人と相談しながら進めていきたいと考えています。

教育民生常任委員長

伊藤 知



▲象潟小学校大規模改修工事 現場踏査

産業建設常任委員会

本委員会に付託された議案8件は全員の賛成により可決・認定と決しました。陳情第7号は全員の反対により不採択となりました。

一般会計決算特別産業建設小委員会

●議案第80号
財産の処分について

【質問】土地は市所有のまま、建物のみの処分ですか。

【答弁】土地は市の所有ではなくります。株式会社秋田オイルシールでは、平沢財産区所有の土地を含めて取得したいとの意向があり、現在作業を進めています。

●陳情第7号

「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情

秋田県でも徴税を行っており、二重課税になるのではとの意見が多数ありました。

付託になりました議案第64号中、農林水産建設部・商工観光部・農業委員会に関する事項について、全員の賛成により認定と決しました。

●議案第64号

平成28年度にかほ市一般会計歳入歳出決算認定について

【質問】高度公益機能森林とは市内のどの区域を想定していますか。

【答弁】本市では九十九島等海岸線に点在している松林が主に県の指定を受けています。

【質問】雪センター負担金とは何ですか。

【答弁】除雪の効率化や共助に関わる地域の取り組みなどを調査して、情報を提供してもらう活動

に対しての負担金です。

【質問】平沢小出線について、同意が得られない方が1名いるとのことですが、今回の数字に含まれているのですか。

【答弁】現在も交渉中ですが、進展していません。来年度の工事区間なので引き続き交渉に当りますが、不調であれば計画を変更することも検討します。

【質問】小路の除雪に関して、要望が出た場合の対応を伺います。

【答弁】連絡があった都度、市も立ち合い、委託業者からオペレーター計画も立ててもらい、対応していきます。

【質問】「鳥海国定公園を美しくする会」に補助金が出されていますが、寄付金を収入としています。説明を求めます。

【答弁】この団体は企業、個人など12団体で構成されています。県と市から6万5,000円ずつ、団体の会費14万4,000円、計27万4,000円を収入として清掃活動をしています。寄付金は銚立等77箇所の子ッポボックスからの収入であり、活動を目的とした補助金とは違うものです。

【質問】工業振興条例補助金について、今後補助率が変わると伺っています。

【答弁】平成28年度は設備投資補助金について取得価格の10%としていますが、29年度からは新設の場合と増設の場合に分けて設定しています。新設は変わらず10%で上限5,000万円、増設は7%で上限が1,000万円になります。リース料も7%で上限が200万円です。他は変更ありません。

一般会計予算特別産業建設小委員会

付託になりました議案第73号、81号中、農林水

産建設部・商工観光部・農業委員会に関する事項について、全員の賛成により可決されました。

●議案第73号
平成29年度一般会計補正予算(第2号)について

【質問】「お試し移住体験事業参加費等補助金」5万円について説明を求めます。

【答弁】昨年度から実施しています。本市を移住先候補としていただけよう、本市の魅力を体験してもらうための2泊3日のツアーです。

産業建設常任委員長
宮崎 信一



▲象潟第1配水池築造工事 現場踏査

お知らせ

● 議員 辞 職

平成29年7月31日付で本市議会議員 市川雄次氏から、9月22日付で佐々木雄太氏から辞職願が提出され、地方自治法第126条の規定により許可を得て、同日付で議員辞職しましたのでお知らせします。

● 委員会構成の変更

議員辞職に伴いまして委員会の構成が変更になりました。構成に変更があった委員会のみ掲載しています。

委 員 会 名	委 員 氏 名			
総務常任委員会	◎伊東 温子	○佐々木平嗣		
	佐々木正明	加藤 照美	佐藤 元	
議会運営委員会	◎佐藤 元	○宮崎 信一	佐々木春男	
	伊藤 竹文	佐々木平嗣	伊東 温子	加藤 照美
議会広報広聴委員会	◎飯尾 明芳	○佐々木春男	伊藤 竹文	
	佐々木平嗣	佐々木正明	加藤 照美	佐藤 元

◎委員長 ○副委員長

にかほ市森林・林業・林産業活性化推進議員連盟研修会報告

にかほ市議会では森林・林業・林産業の活性化を図るため、議員連盟を組織し、年一回の研修視察を行っています。これまでに能代市の木材高度加工研究所や、山形県金山町の木材産業の取り組み等を視察しました。今年度の視察研修は市有林の現状についてです。

市全体の森林面積は約1.5万ha、そのほとんどが杉です。植林から30年以上の伐採期を迎えている木も多く、年間40ha程度の搬出間伐を継続的に行なっています。

今回は10月19日に太郎ヶ台林道と、約50ヶ所の市有林の中から伐採や整備の手が加えられている仁賀保地区の冬師山、象潟地区の中島台等、計5ヶ所を視察しました。

長引く木材価格の低迷や林業後継者問題等、難しい課題が山積していますが、森林の果たす多面的機能なども考え、民有林を含めた市有林の今後の管理のあり方に関心を深めた研修視察でした。
(にかほ市森林・林業・林産業活性化推進議員連盟会長 菊地 衛)

編集後記

9月定例は平成28年度決算認定審査の議会です。各議員は委員会等で疑問点を問い、審査をおこないます。そのために9月定例会の日程が24日間と長丁場になります。

市議会では市民の皆様にご覧の内容を少しでも分かりやすくするために議会報告会を行いました。参加者は思うほど多くなく少し残念に思っています。

先日遊佐町の議会にお邪魔しました。傍聴席は町民の方で一杯、お話を聞きながらメモを取っている姿を見て、にかほ市も市民の方がたくさん参加していただくといいなと思います。勉強してまいります。

広報広聴委員

佐々木平嗣